

週刊「中国・アジア」ダイジェスト

2012.11.05-11.16

記事の詳細は、情報検索サービス『キジサク』でご覧になれます

\*記事は東京発行・最終版

CHINA

11月5日(月)

日系自動車、10月5割減  
日産40%・トヨタ44%・ホンダ53%  
日系大手3社の10月の中国での新車販売が45割減。最も販売台数が多い日産自動車が前年同月比40%減の6万4300台、トヨタが同44%減の4万5600台、ホンダが53%減の2万4115台。(6面)

中国の減速、中小に影響  
廃業・減産・コスト増  
中国の景気減速が、中小・小規模企業の経営に影響を及ぼしつつある。廃業を迫られたり、20%減産を余儀なくされたり、中国事業計画が狂い、国内対応でコスト増に苦しんだり。(23面)

11月6日(火)

製薬、中国重視変わらず  
業績への影響なし  
中国の景気減速にも医療用医薬品は様相が異なるようだ。買い控えも事態は収束、業績への影響はないという。国内製薬企業や医療機器メーカーにとって中国は急成長を続ける有望市場だ。(13面)

11月7日(水)

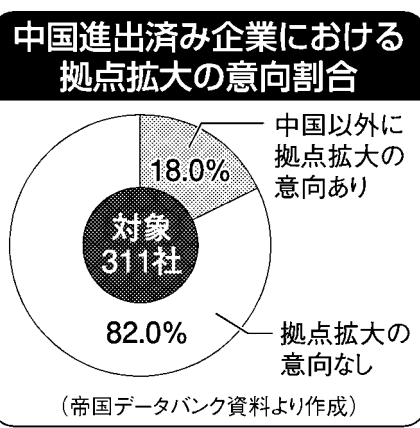
中国で高強度成形  
エフテック/パイプ材軽量化  
エフテックは、中国の生産拠点到液圧でパイプ材を成形する高強度軽量化技術「ハイドロフォーミング」を2013年初めに導入する。顧客の現地調達ニーズが高いため導入を決めた。(5面)

独BASF、上海に開発拠点  
G・チャイナ本社を併設  
ドイツの化学大手BASFは、上海に5500万計(約57億円)を投じて拡張したアジア太平洋地域の研究開発拠点を開設。中国本土と香港、台湾を管轄するグレーター・チャイナ本社を併設。(12面)

ASIA

11月5日(月)

「中国+1」にシフト  
日本企業、戦略見直し  
中国プラス1。アジアで生産拠点の拡充機運が高まっている。インドネシア、タイなど東南アジアは成長率が高く、欧州危機の影響も深刻ではない。日本企業の投資が期待されている。(3面)



新明和工業、タイで生産

トラック荷台傾斜機構/月200本  
新明和工業は、タイでダンブトラック向け荷台傾斜機構「テレスコ式油圧シンダー」の生産販売をする。年内に月約200本の生産ラインを立ち上げる。海外で主流のテレスコ式を加える。(6面)

11月6日(火)

三菱自、フィリピンで一貫生産  
手動変速機/加工を内製化  
三菱自動車は、フィリピンの手動変速機生産子会社ATCで一貫生産体制を確立する。日系変速機メーカーに一部委託していたMTの機械加工を内製化し、収益力を高める。(1面)

仏製CAD、インドネシア販社  
コダマコーポ/日系向け  
コダマコーポレーションは、CADシステムの販売をインドネシアに派出する。ジャカルタに2013年4月をめどに販売会社。仏製「トップソリッド」シリーズ3商品を日系メーカーに。(1面)

フィリピンで金型設計  
東海鉄工所/製造工場も視野  
東海鉄工所は、自動車プレス金型の設計会社をフィリピン・マニラ市近郊に2013年2月をめどに設立する。金型設計は日本とフィリピンの2種体制。金型の製造工場も視野に。(5面)



「習近平体制」で経済成長の持続を狙う中国共産党大会(ブルームバーグ)

11月8日(木)

米中緊張 - 中国経済さらに純化  
オバマ米大統領再選  
オバマ米大統領が再選。人民元切り上げや特許などで米中の緊張が高まると、日本経済にも悪影響。米国が対中国の貿易赤字を削減する経済制裁になれば、中国の経済はさらに純化。(2面)

中国リスク「不安」78%  
大阪府の中小/大阪市信金  
中国リスクに「不安を感じる」が78.7%。大阪府下の中小企業の中国リスクは前回デモがあった2005年当時に比べ、不安を感じる企業は24.3%増加。大阪市信用金庫がまとめた。(27面)

11月9日(金)

安田工業、大連に拠点  
工作機械の保守など  
安田工業は、大連市に工作機械のサービス拠点を年内に開設する。現地には金型メーカーのほか、精密部品の加工業者など顧客が多い。上海に販売現法、東莞市にサービス拠点がある。(1面)

不買運動 - 車部品メーカー直撃

業績、下方修正相次ぐ  
中国での日本車不買運動の影響は部品メーカーにも広がり、通期業績予想の下方修正が相次いだ。中国の生産拠点の稼働率は各社ともに計画の半分程度、中には3分の1に落ち込んだ企業も。(5面)

11月13日(火)

村田製作、深圳にメガソーラー  
出力1000kW級  
村田製作所は、広東省深圳の子会社と野洲事業所に、出力1000kW級メガソーラーを設置する。深圳に導入するメガソーラーは今年完成の予定で、発電した電力は同所で自家消費する。(9面)

11月14日(水)

パナソニック、中国で2割減産  
溶接機/日系自動車が生産調整  
パナソニックは、中国で溶接機を生産調整に入る。日系自動車メーカーが現地での投資案件を先送りしている。減産幅は15-20%程度になり、下期の生産は上

中国と並ぶ規模に。

パール工業、タイでFA設備  
超音波ウェルダーなど/車・医療機器  
パール工業は、タイに100%出資子会社を設立し、超音波ウェルダーなどのFA機械設備の生産を始めた。現地に導入する自動車や医療機器メーカーの現地調達ニーズに応える。(27面)

11月13日(火)

タイ・インドネシア増産  
スズキ/1.5倍、年30万台  
スズキは、タイとインドネシアの工場を増強し、数年内に2カ国合計の年産能力を1.5倍の30万台に引き上げる。両国でそれぞれ5万台増やし、タイで10万台、インドネシアで20万台。(5面)

インドネシアに1000億円投資  
トヨタ/第1車両工場年13万台  
トヨタ自動車は、グループ6社で5年内にインドネシアに約1040億円を新規投資する。トヨタはエンジン工場用地を取得。2013年にカラワン県の第1車両工場の年産を2万台増の13万台に。(5面)

インドネシアに新工場  
industria/車向け溶接ライン  
industriaは、100%出資のインドネシア製造子会社の新工場を完成した。電機制御システムを含む自動車向け溶接製造ラインや独自の遠心分離式流体フィルターを用いた濾過装置などを製造。(25面)

11月14日(水)

新「ルックイースト」推進  
マレーシア/日本の中小誘致に新風  
マレーシアで、日本の中小企業誘致に新風が吹く。マハティール元首相の「ルックイースト」政策から30周年。ナジブ首相は継続を発表、日本の先端技術の導入に意欲を示した。(深層断面=26面)

積水化学、インドネシア合併  
樹脂部品/日系向け  
積水化学工業は、輸送機械用樹脂部品事業で、2013年1月にインドネシアの現地企業と合併会社を設立する。2輪用ポリプロピレン製ファンダーなどを生産する。日系メーカー向けに供給。(2面)

東芝機械、タイに生産拠点  
射出成形機など月産80台  
東芝機械は、タイ・ラオーン県で、射出成形機とダイカストマシンを製造する現地法人を11月中に設立する。月産80台規模。自動車関連向けを中心に、東南アジアでの需要拡大に対応。(3面)

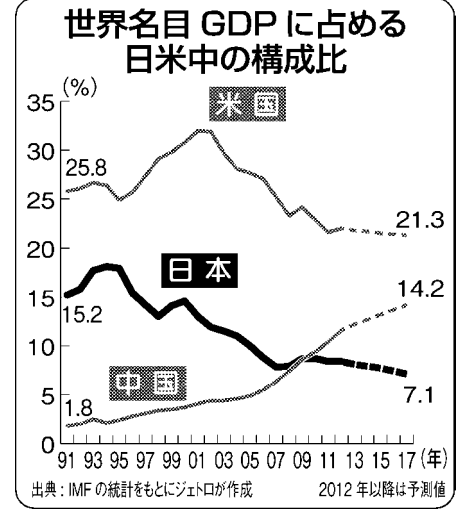
沖縄県、アジアIT企業と交流  
技術者招きOJT  
沖縄県は、アジアのIT企業の幹部や技術者が研修などを通じて県内IT企業との交流事業に乗り出す。まず中国IT企業の幹部や技術者約20-30人を招き、施設の視察やOJTを実施。(25面)

期に比べて数千台落ち込む。

スターネット、中国・東南ア拡充  
LAN構築・情報保護  
スターネットは、中国と東南アジアで、通信ネットワークの構築支援や保守・運用サービスを2013年度に始める。現地に進出する日系企業を中心に提案。LAN構築や情報保護。(9面)

11月15日(木)

「習近平」体制が船出  
日本・成長・リスク両にらみ  
中国共産党は15日、習近平国家副主席を総書記とする新指導部を選出し、新たに船出。日本企業にはリスクに備えながらも、成長を取り込むための戦略が問われる。(深層断面=24面)



「バッファロー」中国に調達集約  
メルコ/外付けHDD  
メルコホールディングスは、外付けハードディスクなど「バッファロー」ブランドで展開する主力製品の部品調達機能を中国に集約する。名古屋の本社と台湾の機能を深圳に集約する。(8面)

イオン、中国50店

事業拡大路線を継続  
イオンは、広州市で食品スーパーが17日に開店し、中国で展開する総合スーパーと食品スーパーが計50店になる。デモで青島の店舗が被害にあったが、中国での事業はこれまで通り拡大。(15面)

11月15日(木)

住友電工、特殊鋼線の新工場  
インドネシア/年1万8000トン  
住友電気工業は、インドネシアで自動車部品に用いる特殊鋼線のオイルテンパ線の工場を建設する。全生産能力は約25%増、年1万8000トン。インドネシアを輸出拠点にASEANで販拡。(1面)

ヨコオ、ベトナム拡張前倒し  
中国リスクを分散  
ヨコオはベトナムにある車載通信機器部品工場を拡張を前倒しする。稼働を2013年秋に始める。中国にも生産拠点をを持つが人件費高騰の対策とともに拠点分散、ベトナムを早期立ち上げ。(1面)

東芝、タイ半導体工場再開  
スマホ向け好調  
東芝は、タイ洪水被害で停止していた個別半導体(ディスクリット)工場の生産を再開し出荷を始めた。代替地に新工場を2013年に稼働するが、スマホ向けが好調で既存工場を稼働させる。(8面)

埼玉の中小車部品に商談の場  
日系の大手/タイ・ベトナム  
埼玉県産業振興公社は、タイやベトナムに進出する埼玉県内の中小自動車部品メーカーと、日系の大手自動車部品メーカーをマッチングする。現地の日系同士で商談する場を提供。(22面)

ビジネス交流促進で合意  
近畿経産局・ベトナム商工省  
近畿経済産業局は、ベトナム商工省とビジネス交流促進で合意し協力文書を締結する。ベトナムが求める裾野産業の育成支援、環境・省エネの推進、産業人材育成支援などで協力。(23面)

11月16日(金)

米国から韓国にSUV輸出  
トヨタ、年600台/車種充実  
トヨタ自動車は、米ケンタッキー州の工場で生産しているSUV「ヴェンザ」の韓国向け輸出を始めた。年間600台。米韓FTAの発効などが背景。車両生産していない韓国の車種を拡充。(5面)

韓国で射出成形機を増産  
エンゲルオーストリア/アジア向け  
オーストリアのエンゲルオーストリアは、韓国で射出成形機の月産能力を倍増の1100台に2013年2月までに引き上げる。中国、東南アジアを中心にアジアで増える自動車向け需要。(6面)

キャノン、印で首位狙う  
IJプリンター/小規模事務所マト  
キャノンは、2015年にインドで、インクジェットプリンターのシェア首位を目指す。現地法人が販売網の整備に着手。市場調査から小規模事務所での需要を見込み、品ぞろえも拡充する。(8面)

11月16日(金)

スマホ・LEDに商機  
日本勢、中国で営業攻勢  
スマートフォンやLEDの商機を逃すな。日本の工具、工作機械、射出成形機メーカーは成長を続ける中国の電子・電機業界に営業攻勢をかけている。ヒット商品にかかわろうと熱気。(6面)

TELOP

上海に国際物流ハブ  
フェデラルエクスプレス(5日15面)  
がん治療抗体、中国に新製造設備  
タカラバイオ(6日13面)  
日通、香港・APCを買収  
アジア 欧州輸送(6日15面)  
中国の特許、高精度に翻訳  
情通機構などがソフト(6日19面)  
特許審査ハイウェイ出願要件統一  
日中韓会合(8日3面)  
SBI、ファンド管理会社承認  
中国企業と共同設立(9日23面)  
中国製パネル、不当補助金調査  
欧州委(時事=9日2面)

中国、アンチダンピング決定  
シームレスパイプ(時事=9日11面)  
中国企業と共同設立(9日23面)  
海外旅行、1年2カ月ぶり減  
中国・韓国の低迷響く(14日2面)  
中国語検定に入門版  
中国ビジネス交流協会(14日22面)  
胡錦濤総書記ら7人が引退  
共産党大会が閉幕(時事=15日2面)  
イーピーシー、医療機器社買収  
生活習慣病測定器(15日11面)  
郵船ロジ、長沙にオフィス  
経済技術開発区の需要(15日15面)

ひと

「地産地消」の地  
「中国向けの自動車用部材が落ち込み、その影響約100億円を営業利益に織り込んだ」と住友電気工業社長の松本正義さん。中国の景気減速はかなり長期的と分



中国の景気減速はかなり長期的と分

析。ただ「中国は地産地消の地。中国工場から製品を海外展開するという位置づけではない」。(5日=8面)

こんな有望市場、ほかにない

「日本の即席めんが年55億食に対して、中国は425億食。近いうちに600億-700億食が見込める。こんな有望市場はほかにない」と日清食品HDD副社長の中川晋さん。「日清の商品は良いけど高価格というイメージだったが、賃金上昇で買ってくれるように」。(5日=15面)

国内線も活気づけば

落ち込んだ日中間の旅行需要。日本航空社長の植木義晴さんは「時間がかかるかもしれないが必ず回復する」と悲観する様子はない。「中国に旅行へ行こうと思っていた人を国内線や他の外国に案内している。これで国内線も活気づいてくれれば」。(6日=15面)

こういう時こそ民間交流

「中国と日本(の関係)は厳しい状況。こういう時こそ民間の交流を広げよう」と中国天津・西青経済技術開発区管理委員会日本事務所代表の慕蘭(ぼらん)さん。「天津には200社を超える日系企業があるが、大手ばかり。中小企業の進出をサポートしたい」。(9日=27面)

中国より新興国?

「日中問題は事業への直接の影響はない。ただ、進出を検討していた企業の計画の一部で凍結する動きもある」とNNTコミュニケーションズ社長の有馬彰さん。「これからは日系企業による近隣の新興国への進出が加速する可能性が高い」とみている。(13日=10面)



「日中問題は事業への直接の影響はない。ただ、進出を検討していた企業の計画の一部で凍結する動きもある」とNNTコミュニケーションズ社長の有馬彰さん。

TELOP

台湾のアプリ会社に出資  
NTTインベストメント(5日9面)  
ワンワールドに加盟  
マレーシア航空(5日15面)  
アジア向け歪み測定機  
共和電業が入門機(6日6面)  
フィリピン精密部品社買収  
ニッパツ(6日8面)  
宇部興産、タイでCPL減産検討  
原料高騰で採算悪化(6日12面)  
日立金属、台湾社への出資を中止  
需要減速響く(6日12面)  
小林社長に韓国政府が勲章  
旭化成ケミカルズ(6日12面)  
国際石油帝石、印で23年ぶり権益  
天然ガス田開発(6日14面)  
DHL、日韓で複合輸送  
フェリー・鉄道・トラック(6日15面)  
韓国LCC代理店で新会社  
エイブル&パートナーズ(6日15面)  
ベトナム製造拠点を解散  
遠藤製作所(7日7面)

佐川、ベトナムで代引  
小売店・通販を開拓(7日15面)  
蘭KPMG、ミャンマー事務所  
4大会計事務所で初(7日19面)  
台湾・元富証券と業務提携  
岡三証券(7日19面)  
台北に居酒屋「白木屋」  
モンテローザ(8日15面)  
台湾社から熱間圧延設備を受注  
三菱日立製鉄機械(9日6面)  
東洋電機製造、インド事務所  
鉄道用電機品を開拓(9日8面)

共英製鋼のベトナム事業に参画  
メタルワン(9日11面)  
シンガポール放送局新社屋受注  
鹿島/280億円(9日12面)  
ファミマ、フィリピン出店  
5年300店(9日21面)  
インドネシア炭鉱株式3%取得  
出光/日本・アジア販売権(9日12面)  
1日1885台、最高を記録  
スズキ/インド(13日5面)  
排ガス浄化用部材、印などで生産  
新日鉄住金マテリアルズ(13日11面)  
シンガポール大型病院受注  
五洋建設(13日15面)  
東海染工、インドネシア増産  
織物・ニット月520万計(13日17面)  
ベトナムで食品卸売り  
加藤産業・住商(13日17面)  
安永、タイに製販会社  
工作機械を現地生産(14日5面)

今回は -

「中国・アジア ダイジェスト」面  
今回は12月3日(月)に掲載します。

マレーシア鉄鋼社に出資

阪和興業(14日11面)  
インド合併を完全子会社  
矢崎総業(15日5面)

インドにLNG貯蔵タンク完成

IHI/15万5000kg/2基(15日6面)  
カルビス、配送を見直し  
インドネシア(15日15面)

大和ハウス、韓国で賃貸管理

通信最大手KTと合併(16日2面)  
フィリピン2輪工場で開所式  
スズキ/年産20万台(16日5面)

味の素、バイオ医薬品関連で合併

韓国ジェンキンと設立(16日15面)  
興研、タイに防塵マスク工場  
月産100万枚(16日15面)

百五銀行、バンコク事務所

進出取引先150社超す(16日23面)  
東洋大、バンコクに拠点  
就業体験・人材育成(16日27面)

ひと

アジアに回帰  
「米国だけが自動車市場ではない」とスズキ会長兼社長の鈴木修さん。米販売子会社の4輪車販売撤退の決定を「追認した」。「アジアに回帰することが良いだろう」。アジアでは「インド一本足打法じゃいかん」と、タイやインドネシアで生産体制を強化。(8日=6面)



「米国だけが自動車市場ではない」とスズキ会長兼社長の鈴木修さん。米販売子会社の4輪車販売撤退の決定を「追認した」。

予感的中

「12月に生産を始めるインドネシアの新工場をアジアの主力工場として活用していきたい」とフタバ産業社長の三島康博さん。インドネシア新工場は「中国一本足打法ではリスクが大きい」とリスク分散も狙い。そこに中国問題。悪い予感的中した心境は複雑。(13日=5面)

品質で勝負

「中国、インドネシアでの成長がけん引している」とユニ・チャーム社長の高原豪久さん。2012年4-9月は、海外売上高が51.7%まで上昇。欧米系と現地メーカーが先行するアジアの日用品市場。そこで「低価格戦略ではなく、品質のよさを伝える」と地道に活動。(13日=17面)



「中国、インドネシアでの成長がけん引している」とユニ・チャーム社長の高原豪久さん。2012年4-9月は、海外売上高が51.7%まで上昇。欧米系と現地メーカーが先行するアジアの日用品市場。そこで「低価格戦略ではなく、品質のよさを伝える」と地道に活動。